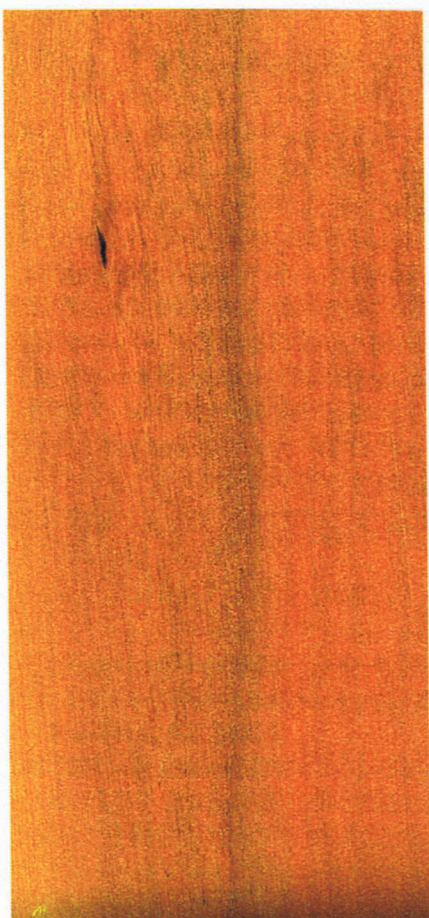


BLACK CHERRY

ブラック チェリー

Black Cherry (ブラックチェリー) バラ科サクラ属ウワミズザクラ亜属 学名 <i>Prunus serotina</i>	
表 面 状 態	散孔材的な環孔材。肌目はきめ細かく、光沢もある。木理は通直である。ビスフレックという障害組織が転々と見られる。
生 育 地	アメリカ中部・東部、カナダ東南部に生育。
材 色	心材 赤褐色から赤色 辺材 白色～淡桃色 心辺材の差は明瞭。緑色を帯びた部分が条状に現れることがある。表面の露出後、暗色化する。
重 さ	気乾比重 0.56 (g/cm ³) やや重厚感がある。
強 さ	曲げ強さ 86N/mm ² 縦圧縮強さ 50N/mm ² 重さに対応した強さである。
弾 性 係 数	曲げ弾性係数 10.4kN/mm ² 重さに対応した硬さである。
加 工 性	切削、研削加工は容易で、旋削加工や木彫にも適応する。仕上がり面は良好。接着性も良好。
耐 久 性	耐久性は普通程度。
安 定 性	狂いは生じにくい。製品後の安定性は良好。
乾 燥 性	木材乾燥は比較的容易。木材乾燥による狂いや割れは比較的小さい。
塗 装 性	塗装性、染色性は良好。仕上がり感が良い。
同 名 異 種	チェリー(サクラ)類は温帯地域の世界各地に数百種類生育している。 ウワミズザクラ亜属;バージニアチェリー(アメリカ北部、中部産、 <i>P. virginiana</i>)、ウワミズザクラ(北海道南部以南、 <i>P. grayana</i>)、イヌザクラ(本州以南、中国等、 <i>P. buergeriana</i>)、エゾウワミズザクラ(北海道、本州中部・北部、中国東北部、樺太、千島列島、 <i>P. padus</i>)、シウリザクラ(本州中部・北部、北海道、中国東北部、樺太、南千島、 <i>P. ssiori</i>) サクラ亜属;ヤマザクラ(本州以南、朝鮮南部、 <i>P. jamasakura</i>)、オオヤマザクラ(本州北部以北、樺太、南千島、朝鮮北部、 <i>P. sargentii</i>)、カスミザクラ(日本全土、朝鮮、 <i>P. verecunda</i>)、オオシマザクラ、(伊豆、房総半島以南、 <i>P. lannesiana</i>)、ヒガンザクラ(中国中南部、台湾、関東地方以南、 <i>P. campanulata</i>)、ミヤマザクラ(日本全土、中国東北部、朝鮮、樺太、南千島、 <i>P. maximowiczii</i>)、セイヨウミザクラ(アジア西部原産、 <i>P. avium</i>) バクチノキ亜属;バクチノキ(南関東以南、琉球、台湾、中国中南部、 <i>P. zippeliana</i>)、リンボク(中部地方以南、 <i>P. spinulosa</i>)、チェリーローレル(欧州東南部、 <i>P. laurocerasus</i>) スモモ亜属;ウメ(中国原産、 <i>P. mume</i>)、アンズ(中国原産、 <i>P. armeniana</i>)、スモモ(中国原産、 <i>P. salicina</i>) モモ亜属;モモ(中国原産、 <i>P. persica</i>)、アーモンド(アジア中央部原産、 <i>P. dulcis</i>)
同 名 異 種	カバノキ(<i>Betula</i>)の系統の木肌がチェリー(サクラ)に似ているので、〇〇ザクラ、〇〇チェリーという表現をすることがある。ミズメザクラ、カバザクラ、チェリーバーチ等。 その他、マコレ(アフリカンチェリー、 <i>Tieghemella heckelii</i>)
用 途	ブラックチェリーはほとんど希少になったマホガニーの後継樹種として人気を集めている。肌がかめ細かく、光沢があり、濃赤褐色に変化した材色、やや重硬であるが、加工性、乾燥性の良さ等、高級家具、キャビネット等に最適の樹種といえる。ハンスウェグナーの椅子やダニエルブランドの家具等にもよく使われている。日本ではサクラ(ヤマザクラ、シウリザクラ等)やカバ(〇〇ザクラ)が建築内装材や家具、細工物の木製品によく使われてきた。特に洋家具が普及するとこれらを使うことが多くなってきた。



ブラックチェリー



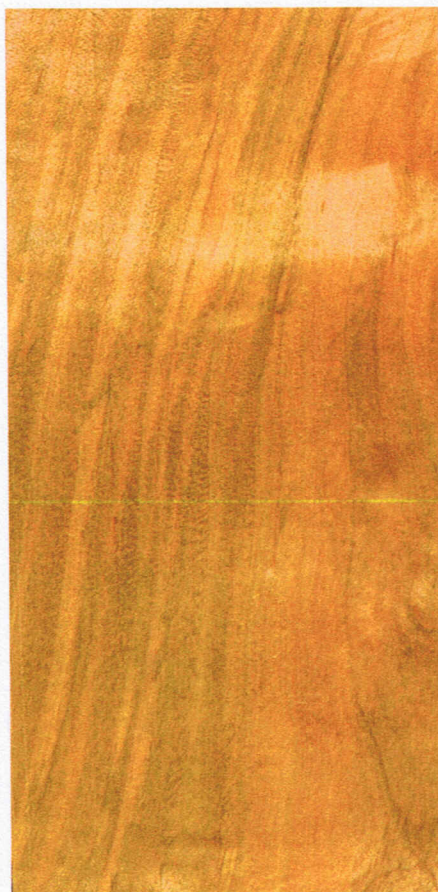
ブラックチェリー^④



ブラックチェリー



ブラックチェリー



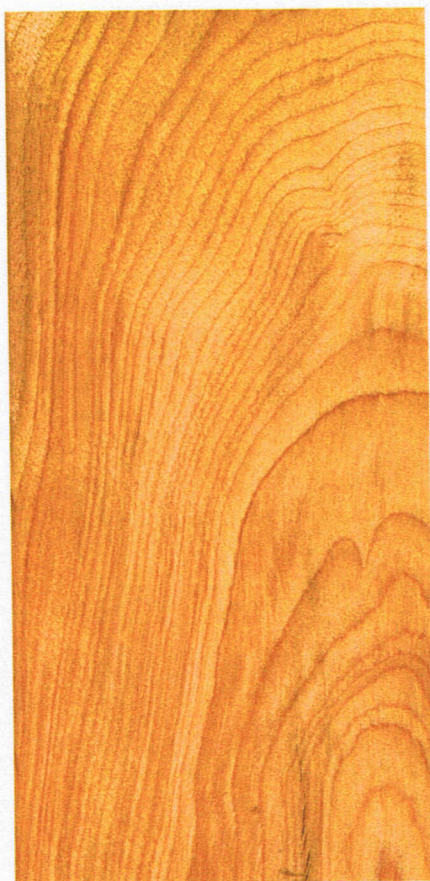
ヤマザクラ



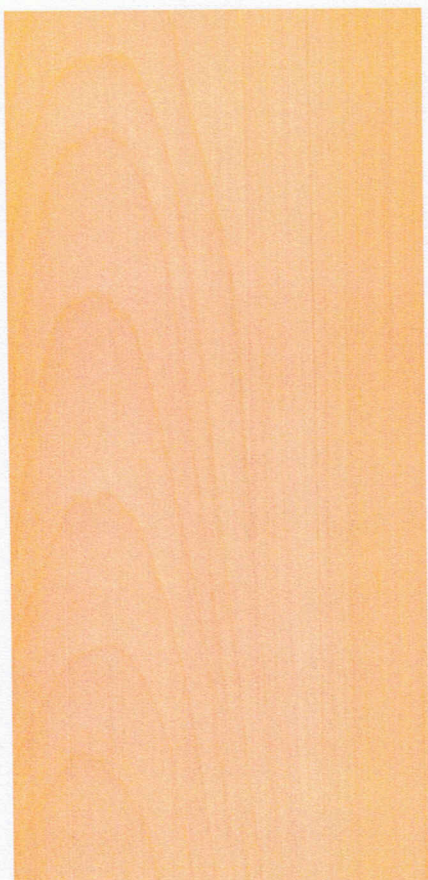
シウリザクラ



マコレ



ミズメ



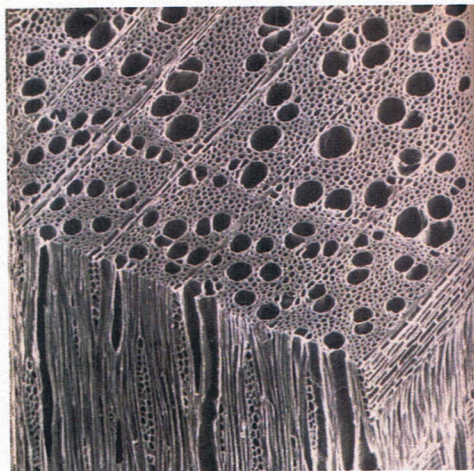
マカンバ

同属の樹種	木材の特徴
ヤマザクラ (山桜) (<i>P. jamasakura</i>)	日本のヤマザクラはブラックチェリーよりやや緻密で、若干明るめな感じであるが、よく似ている。狂いも少なく、加工もしやすいので、漆器木地や器具等に使用されていたが、家具や内装材に適した木材である。桜好きの日本人のイメージとあいまって、人々に好まれる木材である。マカンバやミズメがサクラ材として通用している。欧米や中国等のチェリー類も同様と考えて良い。
シウリザクラ (朱利桜) (<i>P. ssior</i>)	北海道から産出されている。ウワミズザクラの仲間で、材質的にはほとんどヤマザクラと同様であり、それよりも若干おとなしいイメージがある。
セイヨウミザクラ (西洋実桜) (<i>P. avium</i>)	サクランボ(桜桃)用の樹種で世界中に植栽されている。果実の採取が目的なので、あまり大径高木にしないが、材質はほぼサクラ材と同様である。
ヒガンザクラ (彼岸桜) (<i>P. campanulata</i>)	サクラ亜属には多くの樹種が含まれており、ヒガンザクラやオオシマザクラ、サトザクラ、マメザクラ、ソメイヨシノ等々、材質的にはほぼサクラ材と同様である。
ウメ (梅) (<i>P. mume</i>)	ウメは大径材が少ないので、家具や建築内装材等には用いられていないが、肌目は緻密で、かなり重硬なので、割裂しにくいので櫛、箸、そろばん玉等に使用され、ロクロ細工や木彫品等にも賞用されている。

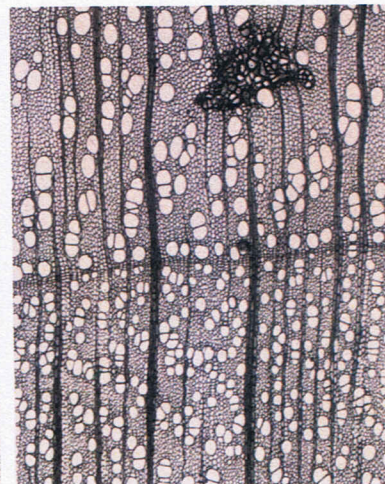
異種同名の樹種	木材の特徴
ミズメ (水目) (<i>Betula grossa</i>)	ミズメザクラという名称が一般的である。サクラ材とよく似た材質である。かなり重硬、緻密、仕上がり面も良好で、加工性や乾燥性も悪くない。家具や建築内装材の他、小物製品に使われてきた。一般にサクラの家具や建築材といえ、ミズメやマカンバによるものが多い。松本民芸家具はミズメ材を中心として洋家具を作っている。

異種同名の樹種	木材の特徴
マカンバ（真樺） (<i>Betula maximowicziana</i>)	ウダイカンバとも言い、カバザクラということもある。大径材になり、狂いにくく、均質なため、家具、建築内装材、鴨居や敷居、フローリング等に広く使われ、カバ合板も一般化している。ダケカンバやシラカンバ等も同様であるが、良材が採りにくく、材質的にも若干落ちる。
チェリーバーチ (<i>Betula lenta</i>)	北米東部～五大湖地域にかけて産する。欧米でのイエローバーチあるいはレッドバーチと言われる種類の一つである。緻密で重硬な木材で、家具やフローリングあるいは器具の部品等に使われている。
マコレ (<i>Tieghemella heckelii</i>)	アフリカンチェリーあるいは南洋桜と呼ばれることがある。西アフリカに生育している。木理は通直だが、時々草食性の高い虫を生じることがある。木肌はきめ細かく、やや重硬で、ドアや家具、造作等に使われている。

ブラックチェリーはアメリカの中部、東部及びカナダ南東部に生育するバラ科サクラ属の落葉広葉樹です。サクラ属は全世界(温帯地域)に広く分布し、アメリカにも30種類程度あるようですが、大木になるのはブラックチェリーぐらいのようです。日本にも色々なサクラ属があり、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、シウリザクラ等の木材は良材として知られ、そのほかのサクラ系の木材も利用されています。サクラ属の木材チップはハム等の燻製用として、広く用いられているほか、ミザクラ系のもので桜桃(チェリー)として食用にされています。



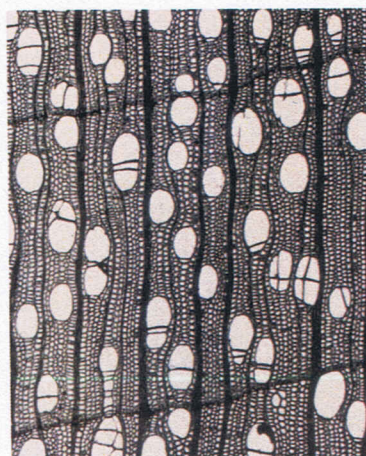
ヤマザクラの走査型電子顕微鏡写真



ヤマザクラ木口の顕微鏡写真

カバ(Birch)材の系統のものは材面が似ているので、〇〇チェリー、〇〇サクラと称していることもあります。分類的には異なったものです。カバ材の方がどちらかというと均質で変化が少ないように思えます。日本でサクラと称されてきた家具、建築内装材等の多くはカバ材のものが多く、そういった習わしになっていったようです。逆にヤマザクラの樹皮を使った「樺細工」というのがあり、伝統的工芸品として認知されています。

ブラックチェリーは心材が茶褐色～赤色、辺材は淡桃色～白色で、心辺材の差は明瞭です。空気に触れるとかなり速やかに濃色化し、濃茶褐色～暗赤褐色の美しい材色になります。道管の配列は少し規則性がある半環孔材で、肌目はきめ細かい感じがします。比重は0.56程度と広葉樹材としては中庸な重さ、加工性や乾燥性等も良好で、仕上がり面も美しいので、家具、室内内装材、木製小物等に用いられています。特に、マホガニーが枯渇した現在においては、その後継樹種としてのブラックチェリーが注目されています。日本にも高級材として輸入されています。ブラックチェリーを含めてサクラ材は高級な洋家具にはなくてはならない樹種です。カバ材も同様に使われていますが、サクラ材の方が少し変化に富んだイメージがあります。どちらにしても散孔材～半環孔材の木目のものとして、非常に幅広く用いられています。



マカンバ木口の顕微鏡写真